

スタントマンによる交通安全教室が行われました。

自転車事故 交差点に注意

丹原高で
安全教室 スタントマンが実演



丹原高校での交通安全教室で、体を張って交通事故の危険性を伝えるスタントマン
＝7日午後、西条市丹原町願連寺

高校生に交通事故の危険性を感じてもらおうと、JA共済連愛媛は7日、西条市丹原町願連寺の丹原高校で交通安全教室を開いた。実際に発生した事故を基に自転車と車と衝突する様子などをスタントマンが実演し、事故の恐ろしさを伝えた。

見通しの悪い交差点で自転車と車が出合い頭に衝突したり、大型車両の内輪差で巻き込まれたりするケースを実演。ケースごとに事故の原因やどうすれば事故に遭わなかったのかという説明もあった。

同校では全校生徒の95%以上が自転車通学をしているという。2年の大西力斗さん(16)も「毎日自転車に乗っている。特に事故が多いと聞いた交差点では、ルールを守り安全に運転したい」と話していた。

JA共済連愛媛は2010年度から、県内の中学校や高校で交通安全教室などの取り組みを実施している。7日の教室では西条西署も安全講話を行い「県内で高校生が関わる事故は昨年より増加傾向にあり、全体の約82%が自転車乗車中に起きている。ルールを守り十分な安全確認が大切だ」と呼びかけていた。

(高橋圭太)

交通事故の疑似体験から、事故の危険性を実感し、自分のこととして、交通安全について考えることができました。